

性無知娘と、
性指導おじさん





「はあゝ…。どうしろって言うんだ全く…っ」

——俺はどこにでもいる普通の教員をしているものだ。
中年独身。風俗通い。生徒父兄には舐められっぱなしと
苦勞の多い教師だが、それでも普通の方の教師だと
自負している。

しかし今年に入って、新たに設置された**性**生活指導部
という部署の要員として任命されてしまったことが
全ての始まりだった…。



性生活指導部とは――

簡単に言えば性行為に関して問題がある生徒を指導したり
性行為を実技で教えたり……。
言ってみれば生活指導のセックス関係版みたいなものだ。

が、まあはつきり言ってこんな中年男性に性指導してもらいたい
なんて奇特な生徒なんているわけがない。

それだけならまだしも……
周囲からはこんな役職に就きたがるぐらい生徒を
イヤらしい目で見ているとか

女の同僚や保護者からはまるで不審者を見るような目で
見られて子供らを遠ざけようとしてきたり等々……



あげく生徒からは私を馬鹿にする蔑称を考え出すのが
学校中のブームとなっている始末…っ

「冗談じゃないっ！ あの馬鹿校長が勝手に
俺を任命してしかたなく…っ！」

という具合だ。

元々風俗通いの趣味が周囲にほぼバレかけていて
肩身の狭い思いをしていたのだが…。

今回の一件で学校での俺は完全に針のむしろ、性犯罪者の
ような扱いになってしまったというワケだ…っ

「――ああ。こんなところにいらっしやいましたね」

そんな風に屋上で管を巻いていた俺にコイツが
声をかけて来た事が、コイツとの関係の始まりだった…





「ああ、君はたしか風紀委員のー」

てらしま かずこ
「寺島一子です。先生」

そんな名前だった。確か議員の娘さんで、授業を受け持ったことは無かったがその年齢「不相応な乳と真面目だが愛想のない対応がかなり良い」と何人もの男子が話しているのを聞いたことがある。

「あー…それで寺島？ いったい何の用なんだ？」



「はい、先生に性指導のお願いをしたいと思いますって探していました。こちら申し込み用紙です」

「……なんだって？」

思わず聞き返してしまった。
学校で中々に人気の女生徒が、この俺に
性指導を受けたいだって……？

……さては俺を笑い者にする為の生徒の悪戯か？



「あー…、寺嶋。これがどういう意味かわかって
持ってきてるんだろうな？」

「？ 先生から性行為について教えていただく為の
申し込みですね。主に実技でと聞いています」

「それをわかっているなら何で…？」

「先生が何を心配しているのか私にはわかりかねますがー」



「私の家は厳しくて今まで男性とお付き合いしたことが無く、おそらくこれからそんな事になる事は無いだろうと考えています。

そんな私が結婚までに性行為について勉強するにはこの性生活指導がいい機会だと思いました。

それに風紀委員たる私は、性の乱れを抑制する為の指導を積極的に受ける事が正しい姿だと思っています。

加えて、普段から議員の母に『学校の制度行事には積極的に参加するように』と、言われているという理由もありますが…

他にも理由が必要ですか？」



「正気かコイツ…」

結婚に備えてたの、
風紀委員はこんな指導を受けなくちゃいけないだの、
ましてや母親から言われてるからだの…

こっちの目を見て淀みなく答えたこの感じ……

おそらく大真面目にこんな理由をこちゃこちゃと
挙げているのだろう。

——確信した。この娘は世間知らずの箱入り娘だ。

…そうとわかったら、俺が取る道は一つしかない。



「わかったわかった。じゃあ申込用紙は受け取っておくから
後で日程なんかを連絡しよう」

「よろしく願います、先生」

ふっふふ…。嫌々押し付けられた性指導員だったが、
まさかこんな美味しい思いができそうなんてなあ…。

世間知らずの巨乳美少女か、せいぜい俺好みに
教育させてもらおうとするかな…(笑)

―某日・某ラブホテル



ふおお…っ
これが現役JKの柔肌…っ

すべすべムチュムチでっ
たったまらん…っ！

先生 私は
何をしたいらば？

先生に身を任せていなさい…！
今日の所はセックスがどういふものか
体験するだけで良いからなっ



はあー… はあー…
すんすんっ はあっ！

このハリのある吸い付くような肌…!!
雌ガキ特有の甘い香り…っ！

この体を好き放題しても
いいなんて本当に性指導員
さまさまだな！

しかもまったく抵抗する
素振りを見せんとは…

性について無知のアホだというのは
どうやら本当みたいだなあ…!!





んん？

なんだ、ずいぶん可愛い声をあげるじゃないか... ええ？

んっ...

あっ... あっ...♡

わかり…ません…っ

くすぐったいような、
痺れるような…？

あっ…♡

こんな刺激は初めて
感じ、ます…っ

んんっ♡

くっ
ちゅ♡

くっ
ちゅ♡

くっ
ちゅ♡

くっ
ちゅ♡



どうやらこの娘は相当
敏感な体の持ち主のようだ

事実、俺の指が体をなぞるのに合わせて
ゾクゾクと体を震わせている…

真面目で塩対応な風紀委員様が
こんなイヤらしい体を持て余していた
なんてなんの冗談なんだか…(笑)



なんだ？ いい年して
オナニーもしたこと無いのかあ？

クラスメイトはお前で
猿みたいにシコってるというのに

じ、自慰行為…
ですか…？

べ、別に…、する必要も…
んっ♡ なかったので…



ひあつ!?

じゃあ知らないなあ…
これがキモチイイというヤツだ

ギッ♡

ギチチ…♡♡

さあ寺嶋 どこがどんな風に
キモチイイのか先生に教えてみなさい…



キモチ、いい…？

先生の手が…
キモチ、いい…、です…

はは…
っっ
♡♡

乳房の先が…甘く、
痺れてくみたいで…
アソコも…っ

お...お...
っっ♡♡

乳房じゃなくおっぱい
先じゃなくて乳首 アソコ
じゃなくてま○こと言いなさい

ビクッ

ビクッ

ギチ...ッ

ギッ

なるべく下品な言い方の
方が男は喜ぶものなんだ

わかったか？

は、はい…♡

ちくびが…むず痒くて…
辛い…っです…っ

おま〇こ…、も…
かき混ぜ…っられると…っ

お腹の下から…変な、刺激が…
どんどん…っ おおきくなっっ♡



かき混ぜられるって
こんな風にかあ？(笑)

あっ♡

あっあっあっ♡

こ、これっ
ダメですっ♡

お腹の下っ
へんな痺れがっ♡
どんどんっ
強くなってきたっ！

カリッ
カリッ
カリッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ



それがイキそうになる
という感覚だぞ寺嶋

イキそうになったらちゃんとイクと
状況報告するのがマナーだからな？

ほ、そんなマナーって……っ
ほ、本当なんですか……っ？



なんだあ？ 先生の
言う事を疑うつもりか？
だったら——

おおつ……!?

そ、そんな激しく
ぐちゅぐちゅされたら……っ！

—い、いくつ♡

A close-up illustration of a person's buttocks and lower back. The person is wearing a dark blue bikini bottom and light blue underwear. The skin is wet and glistening, with several vertical lines indicating water or sweat. Pink heart-shaped sound effects are scattered around the buttocks, suggesting a soft or wet texture. The background is a solid pink color.





はあ… はあ…
ふっふっふ…初めてで
潮吹きとは大したものだお前は

はっ…
はっ…
♡

セックスにおいても優秀な
成績を収められそうじゃないか
ええ？

はあ…
はあ…
♡



初絶^{イキ}頂で心ここにあらずか…
まあいい

この隙にこの敏感な体に
俺の肉棒^{コイツ}をしつかりと刻み付けて
やるとするかな…



ふ…っ うっ…
おおお…っ♡

こ、これが寺嶋の膣内…っ
初めてのチンポを押し返そうと
必死に締め付けてくる…!!

っ…!!

っ…!!
っ…!!
っ…!!

はっ
はっ
はっ
はっ

うっ……ふう……

さて、初めて男を
啜え込んだ気分はどうだ？

先生がお前の初めての
男になったんだぞ
ん？





は、はい…
思ったより痛みは無くて…

ちよつと息苦しいような
異物感と…あの…、
挿入れられた時に…っ

おま○この辺りからさっきの…
キモチイイ感覚が強クー



あっ♡♡♡
あっ♡

キモチイイと言うと
こんな感じかあ？

はっはっは
そ、そうですっ♡

さっきのっ、
むず痒いようになっ！
変なっ 感じっ♡

おおお……っ！

動き出した途端に
お前のまんこが蠢いて
吸い付いてくるぞお……！

おお
ぐっ♡
♡

太いの…っ
おまんこ…っ
苦し…っ ♡

けど……っ♡

あ、す、ち

ほれっ！

ほれっ！

もっと激しくして
欲しいかあ？！

シてっくださいっ♡

変な感じっ 全然……
収まらなくてっ
むず痒くてっ♡

もっとおま○っ
ぐちゃぐちゃにシてっ
欲しいっですっ♡



はあ… はあ…
初めてだから少しは
遠慮してたんだがなあ…

そう言うならっ！





馬鹿になれっ！
先生に優等生の
馬鹿面見せてみ

自分をさらけ出すのが
正しい男女の
営みだからなあっ!!

おっ！

イ
く
イ
く
っ
！
さ
っ
き
の
よ
り
強
い
の
ク
る
っ
♡

イグっ♡
またイキますっ！

またイキますっ♡
せんせえっ♡







ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡
ぐぐっ♡

いっくっ♡
いっくっ♡
いっくっ♡

ふふっ♡
ふふっ♡
ふふっ♡
ふふっ♡
ふふっ♡

いっくっ♡
いっくっ♡
いっくっ♡

いっくっ♡
いっくっ♡
いっくっ♡

ぬうっ...!!
し、搾り取られる...っ!!

どおっ♡
どおっ♡
どおっ♡

どおっ♡
どおっ♡
どおっ♡

はあ……
はあ……

……ふふ……
まさか初セックスで
失神寸前とはなあ……

これはとんだ玩具を
見つけてしまったのかも
しれないな……
オモチャ

ははっ
ははっ
♡♡

ほれほれ
休むにはまだ早い！

若いんだからもっと
イケるだろっ!!

せんせ……っ
は、はげし……っ

おっ
♡

おっ
♡





言ってなかったが俺は
絶倫過ぎて出禁になった風俗店^{みせ}も
あるくらいだからなあ…っ！

朝まで寝かさん
からな…！！

付きっきりで
指導してやるぞ…！！



おっ...

っ

んっ?

こうやって奥をグリグリ
されるのがたまらんか?

お前の子宮が
切なそうに吸い付いてくる
のが丸わかりだぞ

子宮口でのアクメも
覚えておきなさい…っ

イク時に精子漏らさない
ように吸い付いてくる動きが
たまらんからな…!!

ひぐ…っ!!

ふっ…
ふっ…
♡

ふーっ♡
ふーっ♡

ぢゅ
ぢゅ

ず
ず

ず
ず

ぢゅ
ぢゅ

ぢゅ
ぢゅ

ず
ず

ず
ず

はっ
はっ

で、射精^でるぞお…っ!
寺嶋…っ!!



うっ…♡
まだ射精る…っ♡

先生の遺伝子を
お腹いっぱい
持ち帰りなさい…っ

ふ…っ♡

ふ…っ♡





——数時間後

ふーっ♡

ふーっ♡

んっ♡♡♡

よし、いいぞお…
事が終わったらこうやって
丹念に舐め掃除するの…

うっ♡

女の役割だからな♡

ゴロオ…んっ♡♡♡





常に下から視線で
男には媚びた姿勢で
いなさい

男に良い気分で種付け
してもらうのがセックスの
決まりだぞ？

ふあい…せんせい…



良い子だあ寺島…

これからずっと先生が
指導してやるから
感謝するように

俺が合格出すまでは
辞める事は許さんからな…

うっ
♥



ふう…
イキ狂うまで攻め立てたおかげで
俺の言うことは何でも受け入れる状態に
なっているな…

だがこれだけで日常に戻ったら
俺の言う事にも疑問を持つようにな
るかもしれん…

今後も継続して教育してやることで
俺抜きでは生きていけない体に
仕込んでやらないとな…(笑)



はあ…
はあ…っ

こ、こんなところ
で、学校の廊下でも…
指導を行わうんでか…？
しかも授業中…っ

はあ…っ
はあ…っ

男女の営みは場所を
選ばないからな…っ

こういうシチュエーションも
ちゃんと覚えておきなさい…！

れろっ

口答えは良いからちゃんと
ベロチューに集中しろ……!!

舌で舌を愛撫するように
愛情込めてネットリ
絡ませるんだぞ……っ

ふ、ふあい……っ

よし、いいぞお……っ
男の勃起を率先して助けるのも
女の役割だからな♥

ふあ……っ
先生……コレ……!!

ふふっ……
明るい場所で見
感想はどうだ?

先日処女だったお前を
ヒイヒイ言わせた
イチモツだぞ?

さわ

さわ

さあ触ってみなさい

ふあい…♡

おふっ…

すべすべの手で
おっかなびつくり
触るから…

初々しい感じが
なんとも言えんな♡

さわ

さわ

さわ





太くて...ぴくぴく
脈打ってます

凄く熱い...っ

おっ

おおっ

そんな無遠慮に
擦られると...っ

こ、腰が抜けそ...っ

どき
どき
どき

しゃっ

しゃっ

しゃっ



壁に手を突いて
ケツ突き出しなさい……!!

お前のまんこで
死ぬほど精子コキ捨てて
やるからな……!!

はっ!
はっ!

も、もう
辛抱たまらん……っ

~~~~~♡

いっ  
クッ  
♡

いっ  
クッ  
♡

おほ…っ

やっぱりお前のまんこは  
最高だな……！

トロトロにほぐれてるのに  
挿れると切なそうに  
締め付けてきて

油断するとうっかり  
で  
射精そうになるわ…っ！

ズ  
ン  
ン  
♡







なんだあ？  
一丁前に声出すのを  
我慢しているのか？

…っ♡  
…だって…  
授業中ですから…っ♡

そうかそうか  
なら先生もゆっくり  
動いてやるからな(笑)

っっ!

お、奥...っ  
ねじ込むみたいにな...っ♡

ふふふ...♡



おっ♡

おおお〜〜〜っ♡

ゆ、ゆっくり…  
引き抜かれると…っ♡

カリの部分…!!  
おまんこ引つかかるの…っ  
凄くて…っ!!

おまんこ  
↓



ふーっ♡

ふーっ♡

なんだ、これじゃ  
ゆっくり動いてやっても  
変わらないなあ...

もう勝手に動くから  
バレたくないなら  
勝手に我慢してなさい

むわ...♡





ああ、イクイクっ♡  
学校で生徒に種付けする  
この征服感っ♡

今日一濃いの  
射精させてもらうからなあ？











ああー…  
たまらん…

教師冥利に尽きるって  
ヤツだなあ…

うっ  
まだ射精るっ♡

は…っ  
は…っ♡

ゴッポ…

はあ…  
はあ…  
はあ…

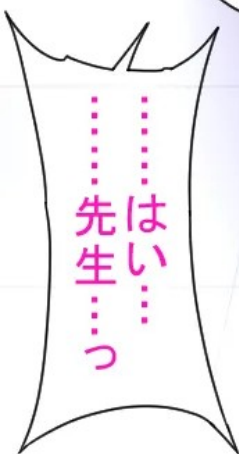
はああ…♥性欲に  
火が付いちまったな…

よし、今日は  
早退するぞ寺島！

先生の家で丸一日  
可愛がってやるからな！

お前にとって先生の  
性処理以上に大事な  
時間は無いと思え！  
良いな！

はい…  
先生…





——数日後

おおぅ……♡

ちんぽしやぶりも  
なかなか手慣れたモノに  
なってきたなあ……

んく……

あむっ

あむっ

へんへえ  
先生の……ご指導の  
おかげれふ……



そうかそうか

先生も熱心に教育  
してやったかいが  
あるってもんだ…

ふっ  
ふっ  
…

れろ  
れろ

れろ  
れろ  
れろ

こうして話ながらも  
ちんぽに手を抜かない

性処理便女としてのの  
自覚が出てきたんじや  
ないのか？ ん？

べんじょ



う……くう……  
そろそろイクぞお……っ

もつとぎつちり  
パイ圧をかけるんだ……っ！

精子媚びるような  
上目遣いも忘れるな……っ！

お……おお……♥  
でる……っ  
でるう……っ！！







ぐうっ!!

ぐ  
どろろ

どろろ



おっ  
♡

おおお……！  
精子……っ

尿道から……っ  
吸い取られて……っ ♡

ずずず……

金玉……っ  
根こそぎ吸い取られそ…… ♡



ふう…  
ふう…

…またすぐぶち込んで  
やるからな？

いった後にまた  
ちんぽ勃たせるのも  
気を抜くなよ

れろ♡

れろ♡  
れろ♡

わかってまふ…  
先生え…っ





ああそうだ  
出しておいた課題の方は  
ちゃんと準備できてるか？

……はい……  
昨日ようやく先生のサイズが  
はい入るようになったところで……

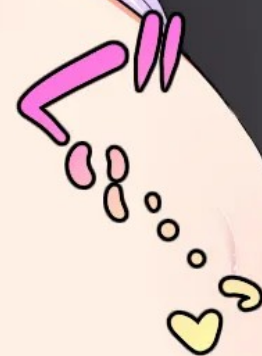
どれ……ここに座って  
見せてみなさい……



んく…っ!  
どうですか…  
先生…っ

ほう…これはこれは  
またイヤらしいモノを  
啜え込みおって…♡

…?  
ケツ穴を拡張しておけという  
課題なんですよ…?





そうだぞ

良き便女たるもの体の  
どんな部位でも満足  
させられるようにならないとなあ…？

…しかしケツを  
拡張しておけとは言ったが…

ケツで感じて本気汁  
垂れ流すようになれと  
言ったつもりは無いんだがな…  
んん？

トロ…ッ



す、すみません……!

すんすん……!  
発情しきった生々しい雌臭が  
部屋いっぱい立ち込めているぞ?

か、嗅がないで  
ください……っ

むわぁ……





よし、ではプラグを  
ひり出さない

手は使うんじゃないぞ？

お前のケツ穴が踏ん張ってる  
ところをじっくり  
観察してやるからな…♡



わ、わかりました…  
では…っ

私がプラグをひり出すところ…  
見ていてください…!!





んっ♡  
んう…っ♡

ふふ、お前の恥ずかしい所が  
盛り上がって蠢いているのが  
バッチリ見えているぞ…♡

みちみち…

い、言わないで、  
ください…っ♡

っはあ...  
はあ...♡

っ...♡

ひ出しました...  
先生...っ



おお、いい見世物だったぞ  
ぱっくり開いた穴から  
キツイ匂いが漂ってきそうだ...♡

もわ...♡

グ...  
グ...



…いい言わないで  
くださいよ…

さて、寂しそうにぱくついてる  
ケツ穴には頑張ったご褒美を  
やらんとな？

い、いえ… あの…  
まだ挿入は難しいと  
お、思うのですがー





おっ？  
おっ？  
おっ...っ♡

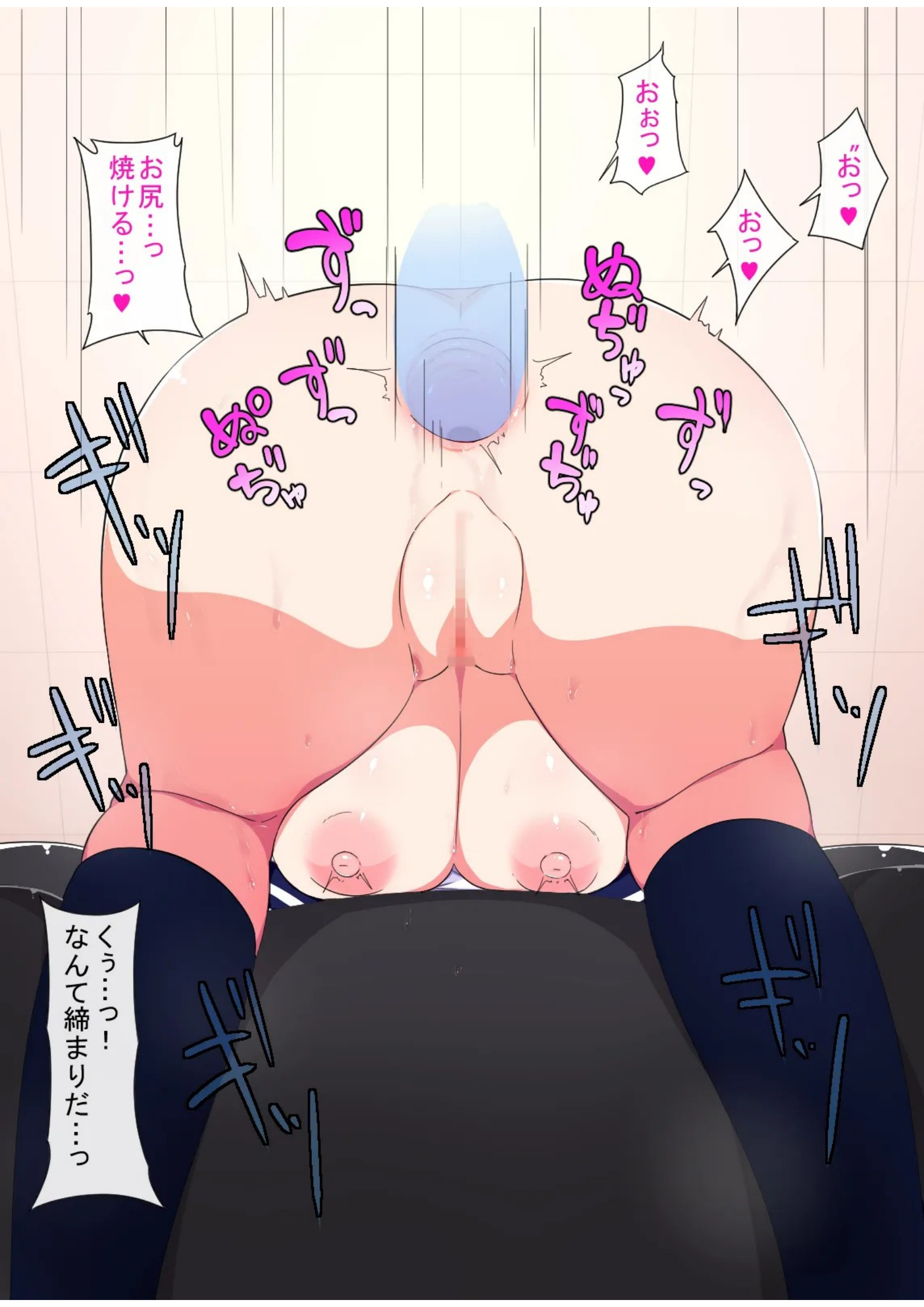
熱くて...  
固いの...っ♡



押し広げられる...♡

ふ...ふ...♡





お尻...っ  
焼ける...っ♡

おおっ♡

おっ♡

おっ♡

ぐ

ぬ  
ぢゅ  
ぢゅ

ぢゅ  
ぢゅ  
ぢゅ  
ぢゅ

ぢゅ  
ぢゅ  
ぢゅ  
ぢゅ

くう...っ!  
なんて締めまりだ...っ

ぢゅ

ぢゅ

初めての異物をお前の  
ケツまんこがうねって取り除こうと  
してくるのが伝わるぞお…っ！

お、おなか…っ  
く、苦しい…ですっ♡

そういう割に声に  
甘いものが混じってるんじゃ  
ないか？ ええ？

ぬちゅっ  
ずっ  
ぬちゅっ  
ずっ



わかり、ません…♡  
でっ、でも…っ♡

だんだん…っ  
お尻が…緩んで、きた…？  
みたいで…っ♡

お…っ  
おぐ…っ♡

先生の…カリ高ちんぽが…  
ゴリユゴリユする…  
キモチ良さだけが…っ♡

強くなってきた…っ♡

あっ♡

ああっ♡

はっはっは  
短い時間でもう  
慣れ始めたのか変態め！

ソファに突っ伏して隠してる  
顔もさぞスケベでとろけた  
表情をしてるんだろうなあ？

し、してないです  
してないですよっ♡♡

くっぢゅ  
くっぢゅ  
くっぢゅ





嘘つけこの  
変態マゾがつ！

いくぞお!!  
まずは一発目っ！

ずっ  
ぬっ  
ずっ  
ぬっ  
ずっ  
ぬっ  
ずっ  
ぬっ

クッガキ  
変態生徒のケツ穴に  
精子コキ捨ててやるからなあ！

おっおっおっ  
先生っ♡♡

いきなりっ  
は、はげしっ♡

くっくっださいっ♡  
精子っ♡

ケツ穴にっ♡

どうぞ好きなだけっ♡  
精子捨てていっくたさいっ♡

ずっずっ  
ぬっちゅ  
ずっずっ  
ぬっちゅ

あっ♡  
あっ♡  
あっ♡





“おっ？” “おっ！”  
“おおお……っ！”

生徒に直腸浣腸できる  
この快感……っ♡

“っ” “っ”  
“っ” “っ”  
“っ” “っ”

“っ” “っ”  
“っ” “っ”  
“っ” “っ”

みっちり柔らかく穴が  
すぼまってきて……っ♡

こ、腰が抜けそうに  
なるわ……っ！

~~~~~♡


っはー…
はー…っ

…これで終わったと
思っなよ？

今日もこのままもつと
使いやすい穴になるまで
ケツまんこ指導してやるからな…!!

おうちの方にはまた
適当に泊まりの言い訳を
考えておきなさい…っ♥
良いな？



このように俺は好き放題
寺島を調教する楽しい
日々が続いたのだった

…しかし、何事にも終わりは来るもので、
事前にコイツに伝えておいた指導日程の
最終日がついにきてしまったのだ……

俺は指導終了を
伝えるべく再度コイツを
あの屋上へ呼び出す事にした――





「少し前までセックスがどんなものかも知らなかった
お前もとうとう指導終了かあ…」
(今もどういふことか理解しちやいないがな(笑))

「……はい。お世話になりました。先生…」

「ん？ どうした寺島？ ずいぶん元気が無いようだが？」

「い、いえ…ただ…。私の中でちゃんと指導が身に付けられた
という実感があまり湧かなくてですね……」



「なんだ自信をもていいぞ！ その年でケツ穴までガッツリ開発された生徒なんてそうはいないハズだ！

どんな男でも満足させられる立派な便女お嫁さんになれると保証できる！」

「あ、ありがとうございます…。でも…何か物足りないというか……」

「んん？ それはつまりもっと先生の指導を受けたいというのか？」



「そ、そうなのでしょうか……？」

「しかし先生もボランティアというわけじゃ無いからなあ……
やはりそれなりの報酬というかメリットが無いと
どうしてもな……」

「メリットと言つと……？」

「そうだな……。お前、俺と付き合うか？」



「……ひっ！あ、あの、それは流石に難しいというか…」

「……わかってる、ただの冗談だ。まあしかし自分の身内相手ならいくらでも付きつきりで指導してやろうという気にもなると思ってたな…？」

「…は、はあ……」

「ま、俺の指導を思い出しながら考えてみるといい。それこそ毎日毎日ああいう生活が送れるんだとな…♡」



「くつくく…
お前のような淫乱の体が男のちんぽに飼われる以外の
生き方ができるものか
ま、どれだけ我慢してられるか高みの見物をさせて
もらおうしよう………」(笑)









ああ...っ
やっとイケそ...♡

ぶっっ

ぶっっ♡

くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

ぞく

ぞく

ぞく

イクっ♡
イクイクっ♡

キモチいいの
奥まで...っ♡





はあ…
はあ…
っ

ダメ…
こんなのじゃ…っ！

もつと奥まで乱暴に…っ
生ちんぽで…

で、でも…っ
先生とお付き合いなんで…

そんな…
そんなの…っ♡











「くっくく… 意外と来るのが早かったなあ？」

「……………」

「ああ、何も言わなくていい。その代わり適当な言い訳を考えて久々の外泊になるとおうちの方に伝えておきなさい。いいね？」

「……………はい。先生……………」

先生…？
あの…

準備できました…

おおそうか
では入ってきなさい…♡

ほー…
コンタクトもカツラも
その馬鹿丸出しな格好も

良く似合ってる
じゃないか…♥

ええ？

ドドド

せ…せんせい…
この格好は…？



なに、たまには今のお前の
ような頭の軽そうな女を相手に
してみたかったんだ

俺の女になったからには
俺のやりたい事にはすべて
付き合ってもらわんとな？

せ、先生の女って……

なんだあ？

こんな所まで来てまだ
グチグチと迷っているのか？



そんな煮え切らん奴には
コイツ
肉棒はお預けだなあ？

あっ
♡

あっ
♡

そ、それは…
♡

くくく…

その様子だとずいぶんと
コイツを恋しがっている
ようだな？

ズッ
オッ
♡

ほれ、これが欲しかったら
今ここで宣言しろ！

一言言うだけでお前の細指じや
届かないような奥の奥まで
ゴリユゴリユとねじ込んでやるからな…♡

はっ…♡
はあ…っ♡

わ、私…♡

私は…っ♡



先生の女になる事を
宣言します…♡



んん
ふふ
♡♡

くうう…っ
宣言した瞬間から
むしやぶりつきおって…!!
そんなにコレが欲しかったのか?
ん?

はむ

くぽくぽ



はひっ♡

せんへえのおちんほ♡
欲しくてたまりまへんでひたあ♡

家で自分を慰め続けている間…

このおちんほでぐちゃぐちゃに
されるのずっと夢見てまひたあ♡

くくく…
たった一言で何とも素直に
なったものだ

俺の雌オナホとして
ふさわしい変貌ぶりだぞ

ありがとうございまふ♡

へんせえに気に入って頂けるよう
心を込めてパイフェラ
頑張らせてもらいますね♡



おおふ…♡

愛情たっぷりのバキュームは
たまらんな…っ

頬も舌もぴったりちんぽに
密着させてきて…

ちんぽを全く嫌悪していない
感じが伝わってくるようだぞ…♡

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん



お気に召していただけたようで
何よりです♥

んっ♥

んっ♥

ああ射精る射精るっ♥
金玉が上がってきたぞお…♥

先生が一子の為に貯めてきた
精子だからな…っ
残さず全部飲み干しなさい…っ♥

くっほっ
くっほっ
くっほっ

くっほっ
くっほっ

くっほっ
くっほっ
くっほっ

くっほっ
くっほっ





おっ
おっ
♡♡

尿道に残った精子までっ♡
ストローで吸うみたいにつ♡

金玉根こそぎかつさらわれてる
みたいだあ…♡





さあ後ろを
向きなさい

俺が挿れやすいように
ちゃんとケツを振り上げてな…♡

ふふっ そんな
物欲しそうな目をしなくても
わかってるわ…

ふふ
…
♡♡



“おおっ♡

い、一気に奥まで
刺さってきたあ…っ♡

ぞくぞく

文句あるのか？
コレが欲しくて
たまらんかったんだらう？

チンポ乞食の
性処理穴の分際で

優しく犯してもらえと
思ったら大間違いだぞ？



お"おっ♡

おちんぽっ♡
ごりゅごりゅっ♡

な
腔内っ♡
め激しくてっ♡
くれちやうっ♡

くうう...っ!
久々の挿入だからか
敏感に蠢いてて...っ♡

まんこがちんぽ
恋しがってたのが
丸わかりだぞ...♡



おぐっ♡

おっ♡

お、奥っ♡
ガツガツ当たってえっ♡

しきゅっ♡
壊れっ♡

壊れちゃい
まひゅっ♡

これくらい激しく
突いて欲しかったんだろっ！

俺の元に嫁いだ時には
肉オナホとして毎日使って
やるから覚悟しておけよっ!!



さあもつと
下品な声出せ！

気持ち良くなる事以外
頭に無い馬鹿丸出しでなあ！

おおおんっ♡

おうっ♡

おぐっ♡

ぐっ♡

ぐっぐっぐっ♡

ず
ちゅ
ず
ちゅ
ぬ
ちゅ

ず
ちゅ
ぬ
ちゅ

ず
ちゅ
ぬ
ちゅ
ず
ちゅ
ぬ
ちゅ





ふっふふ…
夜はまだまだ長いぞ…
今夜は先生と生徒と言うことを
抜きにしてガッツリ愛し合うからな…♥

異論は認めんからな
良いな？ 一子♥

は、はい…〇〇さん…♥



あっ♡あっ♡
○○さんっ♡

もっと「りゅりゅっ」
してくらはいつ♡

ふっふっふ…
カッラは取れたがもう表情も
中身も少し前とは見る影もないな

我ながら熱心に指導して
やった甲斐^{かい}があったというものだ



そら、もう一回
注いでやるぞ！

もし孕んだら籍入れて一生
逃げられないようにしてやる
からなあつ！

おっ

おっ

孕むっ♡

孕みますっ♡

先生の遺伝子で
卵子真っ白に
染められちゃいまひゅっ♡







ふう…
ふう…
ふう…

…指導はこれからも
続くかな？

俺がお前に飽きるまで俺から
離れることは許さないから
覚悟するように…っ！

はい…っ♡

よろしくお願いします…
せんせえ…♡





——終わり。



















































































































































































































































